

第 7 回大阪市同和問題に関する有識者会議について

1 開催

平成 30 年 3 月 23 日(金) 午後 3 時～4 時 47 分

2 出席者

坂元座長、赤井委員、石元委員、阪本委員、
谷口委員、西田委員、松井委員、松浦委員 (50 音順、敬称略)

3 議事及び意見の要旨

(1) 大阪市における人権相談・啓発事業について

人権啓発・相談センターにおける人権相談の取組み、および人権啓発の取組みについて説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・ 部落差別解消推進法を受けて、職員研修の手法と、人権行政推進本部をどのように活用するのか。
- ・ 相談対応者がメンタル不調に陥らないよう、職員のサポートを。
- ・ 対象地域といわれる地域の中から、市民に違和感を抱かせるようなものを無くしていく努力をお願いしたい。
- ・ 若い世代で学校での人権教育の機会が減少し、ネット上などでの誤解と偏見に満ちたメッセージが受け取られている。
- ・ 若い人に発信できるような体制を。

(2) 「国勢調査を活用した実態把握」について

「国勢調査を活用した実態把握」の調査結果の概要について説明を行った。

(委員からの主な意見)

- ・ 旧の同和地域に、より困難度の高い人達が比較的多く集まっている。
- ・ 生活の困難度が高い地域について、公営住宅にそうした問題が集積している。その実態を把握して、福祉が実現する地域をどう作っていくかという問題提起は、この場でしかできないのではないか。
- ・ 人口の流動化が一番大きな問題である。
- ・ この結果から、対象地域のまちづくりをどう考えているのか。
- ・ 地域の努力と行政のバックアップという発想でこの地域を見る必要がある。
- ・ 平均乖離地域等との比較分析の中で、高齢化、最終学歴、労働の状況などについて、対象地域と公営住宅居住者(対象地域を除く)の類似性を見ることができる。
- ・ 生活困難な人達が喜んで生活できるような条件整備を、行政の方でお願いできないか。

大阪市同和問題に関する有識者会議委員（平成 30 年 3 月）

委員氏名	職業名	位置付け
あかい たかし 赤井 隆史	部落解放同盟大阪府連合会 執行委員長	同和問題に精通する者
いしもと きよひで 石元 清英	関西大学 社会学部 教授	同和問題に識見を有する者
かんばら ふみこ 神原 文子	神戸学院大学 現代社会学部 教授	同和問題に識見を有する者
さかもと しげき 坂元 茂樹	同志社大学 法学部 教授	同和問題に識見を有する者
さかもと たかよし 阪本 孝義	自由同和会大阪府本部 会長	同和問題に精通する者
たにくち まさあき 谷口 正暁	民主主義と人権を守る府民連合 執行委員長	同和問題に精通する者
なかお ゆきお 中尾 由喜雄	全国隣保館連絡協議会 事務局長	同和問題に識見を有する者
にしだ よしまさ 西田 芳正	大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類 教授	同和問題に識見を有する者
まきさと つねじ 牧里 毎治	関西学院大学 人間福祉学部 教授	同和問題に識見を有する者
まつい しゅうじ 松井 修視	関西大学 社会学部 社会学科メディア専攻 教授	同和問題に識見を有する者
まつうら ひろし 松浦 弘志	全日本同和会大阪府連合会 副会長	同和問題に精通する者

座長 座長代理（敬称略・五十音順）